

報道機関各位

令和5年5月31日（水）9時30分配付

項目	能取湖におけるホタテ資源利活用協議会の開催について
配付資料	
内容	<p>○ 能取湖におけるホタテ稚貝養殖施設での大量へい死については、4月に「能取湖ホタテ稚貝へい死対策本部（本部長：網走市長）（以下、「対策本部」という）」を設置するとともに、へい死発生の原因究明や今後の再発防止策等の科学的な検討を行うため、対策本部の下に「能取湖ホタテ稚貝へい死対策検討委員会（以下、「委員会」という）」を設置し、検討を進めているところです。</p> <p>○ こうした中、委員会にて被害防止策として、養殖施設の改良が案としてコメントいただいたことを受け、関係者による「能取湖におけるホタテ資源利活用協議会（事務局：北海道オホーツク総合振興局）」を設置し、実証試験等の実施に向けて検討することとしました。</p> <p>○ また、協議会では、今回の施設改良の実証に当たって、ゼロカーボン北海道の推進の観点から、海中のCO<sub>2</sub>を吸収してつくられるホタテ貝殻を活用したCO<sub>2</sub>固定コンクリートの養殖施設資材としての活用と、藻場礁としてブルーカーボン効果の検証試験についても実施できないか検討することとしています。</p> <p>○ この第1回協議会を次のとおり開催することとしましたのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日時 令和5年5月31日（水）13時00分～</p> <p>2 開催手法 北海道庁、道東京事務所及びオホーツク総合振興局によるweb会議</p> <p>3 参集範囲 西網走漁業協同組合、網走市、国土交通省（北海道局、北海道開発局、網走開発建設部）、水産庁、北海道（水産林務部、オホーツク総合振興局）</p> <p style="padding-left: 2em;">※オブザーバー 道総研網走水試、ホーツク東部地区水産技術普及指導所 北海道漁業協同組合連合会</p> <p>4 協議内容 (1) 協議会の設置 (2) 実証試験の実施に向けた検討 等</p>
報道に当たってのお願い	<p>・会議は冒頭のみ公開とします。会議終了後に事務局から内容のレクを行います。</p>
担当窓口	<p>産業振興部水産課 水産課長 伊藤 智英 直通電話 0152-42-0653 内線 2600</p>